

**〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕**

課係NO・業務NO	- .	総合計画	主要プロジェクト(1) 長久手田園バレー構想
担当課・係名	田園バレー事業 課 事業 係 【問合せ・質問等の先(内線番号)246番】		

<b>業務の名称</b>	平成こども塾事業																																															
(1)根拠法令・条例	なし																																															
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>25</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>183</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)																																															
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>61,118</u> 千円(平成16年度決算)																																															
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> %(平成16年度実績)																																															
(5)業務期間	開始した年度	平成14年度	終了(予定)年度	年度																																												
(6)業務の概要																																																
業務目的(達成目標)	こどもと大人の環境に対する意識を深めること																																															
業務が対象とする住民(地域、層)	小学4年生から6年生、中学生及び大人																																															
業務の具体的な実施内容・方法 (平成16年度実績)	<p>(1) 平成こども塾たけのこ隊の事業として公募による小学4年生から6年生40名を対象に、農を中心とした自然体験学習プログラム(4月から12月までの9回)を実施した。また、公募によりこの活動をサポートする「よおし隊」を組織し、プログラムの企画立案から活動当日の運営を行った。さらに専門的な技術を要するプログラムの実施に際して、地域の人材を「お助け隊」として活動に参加してもらった。</p> <p>(2) 平成こども塾マスタープラン策定のため、平成こども塾推進委員会を開催した。</p> <p>(3) 平成こども塾活動拠点施設整備用地を取得した。(2412.32㎡) 施設設計業務及び測量業務を行うとともに設計ワークショップを開催した。</p>																																															
業務の実施結果 (平成16年度実績)	<p>たけのこ隊は広くこどもに参加を呼びかけるため、各小学校を通じて行った。その結果、前年度を上回る参加が得られた。また施設の設計に当たっては、ワークショップを行うことによりこどもや住民の意見を取り入れるよう努力した。</p> <p><b>【業務結果の説明指標】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th></th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>たけのこ隊の開催</td> <td>9回</td> <td>9回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平成こども塾推進委員会</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>用地の取得及び施設の設計</td> <td></td> <td>完了</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>設計ワークショップの開催</td> <td></td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度	1	たけのこ隊の開催	9回	9回				2	平成こども塾推進委員会	12回	12回				3	用地の取得及び施設の設計		完了				4	設計ワークショップの開催		4回				5						
結果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度																																										
1	たけのこ隊の開催	9回	9回																																													
2	平成こども塾推進委員会	12回	12回																																													
3	用地の取得及び施設の設計		完了																																													
4	設計ワークショップの開催		4回																																													
5																																																
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	<p>たけのこ隊は、畑作業や香流川の調査、近くの山での自然観察等の9回の活動プログラムを通じて自然の大切さや自然から得られる喜びを習得できた。</p> <p><b>【業務成果の説明指標：基本計画準拠】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th></th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>たけのこ隊参加者数(1回あたり)</td> <td>30名</td> <td>40名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>よおし隊の登録数</td> <td>15名</td> <td>17名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ワークショップ参加者数(延べ人数)</td> <td></td> <td>160名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>お助け隊登録数</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度	1	たけのこ隊参加者数(1回あたり)	30名	40名				2	よおし隊の登録数	15名	17名				3	ワークショップ参加者数(延べ人数)		160名				4	お助け隊登録数	3名	4名				5						
成果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度																																										
1	たけのこ隊参加者数(1回あたり)	30名	40名																																													
2	よおし隊の登録数	15名	17名																																													
3	ワークショップ参加者数(延べ人数)		160名																																													
4	お助け隊登録数	3名	4名																																													
5																																																

(7) 遂行上の問題点、取組課題

小学生の低学年をサポートできる体制ができない。  
週休日の活動がメインとなるため、職員の対応が難しい。  
サポート組織の強化が必要

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

対象人数を拡大し、できるだけ多くの子ども達が自然環境学習に参加できるよう改善した。

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4 点
		平均 3.7 点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 前年度と同じく、そのまま継続する。     . 見直して継続（業務の拡大）</li><li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li><li>4. 見直して継続（方法の改善）</li><li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li><li>6. 廃止する。</li><li>7. 休止する。</li></ol>
評価理由	活動拠点施設の建設に伴い、多様な自然環境学習を展開していくため。

(11) 今後の改善方針

平成子ども塾マスタープランに基づき、活動拠点を中心とした活動を展開する。  
小学低学年及び中学生を対象としたプログラムを企画し、幅広く自然環境学習を实践する。